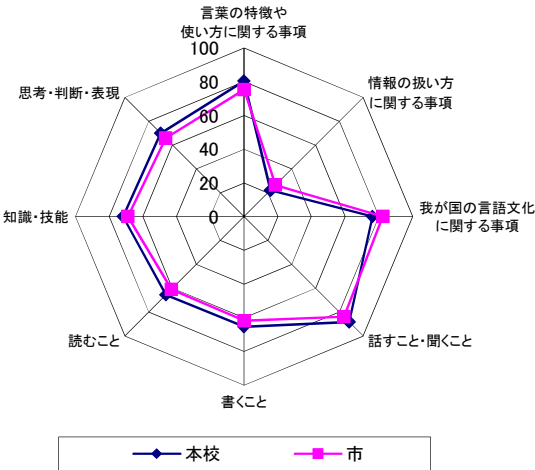


宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方にに関する事項	80.4	75.3	77.1
	情報の扱い方にに関する事項	22.1	26.5	27.8
	我が国の言語文化にに関する事項	76.2	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	88.3	83.9	84.2
	書くこと	65.3	61.7	64.5
	読むこと	65.6	60.9	61.0
観点別	知識・技能	71.8	68.8	70.3
	思考・判断・表現	70.0	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

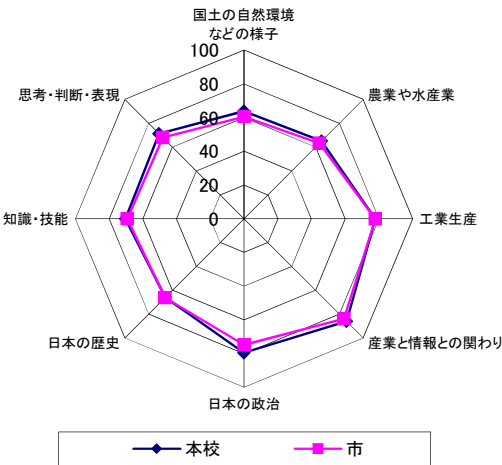
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方にに関する事項	○この領域の平均正答率は、市の平均を5.1ポイント上回っている。 ○漢字の読み書きについては、特に第6学年に配当されている漢字がよく身に付いている。3問中2問の正答率が100%であった。 ●一方、第5学年に配当されている漢字の正答率は市の平均より高かったものの57%～81%であった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・朝の学習や授業でのミニテスト等を継続して行う。また、前学年に扱った漢字や語句についても、繰り返し指導を行うことで、知識の定着を図る。 ・国語での学びにこだわらず、各教科の学習に出てくる語句なども授業内で取り上げ、熟語について意識をもてるようにする。
情報の扱い方 に関する事項	●この領域の平均正答率は、市の平均を4.4ポイント下回っている。 ●説明文の内容や資料から読み取ったことを記述で答える設問に課題がある。	・説明文や資料の的確な読み取りを学年の発達段階に応じて丁寧に行っていくとともに、読み取ったことを簡潔にまとめる活動を繰り返していく。
我が国の言語文化 に関する事項	●この領域の平均正答率は、市の平均を6.2ポイント下回っている。 ●和語・漢語・外来語のに関する問題の正答率は、昨年度の57.7%より向上はみられ76.2%であったが、市の平均より低く、理解が不十分である。	・引き続き語句の由来に関する単元では、より丁寧な指導を行っていく。和語・漢語・外来語にまつわるワークシートやICTを活用することで、知識の定着を図る。
話すこと・聞くこと	○この領域の平均正答率は、市の平均を4.4ポイント上回っている。 ○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができている。	・これまでに行ってきた指導を継続していく。 ・国語や学級活動を中心に話し合い活動を行い、学んだことを生かしていけるようにしていく。
書くこと	○この領域の平均正答率は、市の平均を3.6ポイント上回っている。 ○自分の意見とその理由を明確にして書くことができている。正答率は91.0%であり、全国や市の平均を大きく上回っている。 ●報告文を書くことについては課題がある。	・教科を問わず、自分の考えを書く活動を設け、書き方の指導を行う。その際、条件を踏まえること、構成を考えて書くことなどを丁寧に指導していく。また、報告文を書く際には、目的や意図に応じた簡潔な書き方を意識させるとともに、友達同士で書いたものを見直すなどしてよりよい表現になるよう考えさせる。
読むこと	○この領域の平均正答率は、市の平均を3.0ポイント上回っている。 ○物語の読み取りに関する問題は、正答率が7割～9割ので、描写をもとに内容や心情を捉えることができていた。 ●説明文の読み取りに関する問題は、正答率が6割台で、情報と情報の関係を理解することに課題がある。	・説明文の学習では、指示語の内容や中心文・中心語句などを的確に捉える学習を積み重ねていき、情報と情報の関係を読み取る学習につなげていく。

宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	63.8	60.5	65.8
	農業や水産業	65.0	63.3	66.0
	工業生産	77.9	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	86.1	83.8	76.6
	日本の政治	79.5	74.9	74.1
	日本の歴史	66.1	66.3	68.3
観点別	知識・技能	70.4	69.3	71.4
	思考・判断・表現	71.3	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

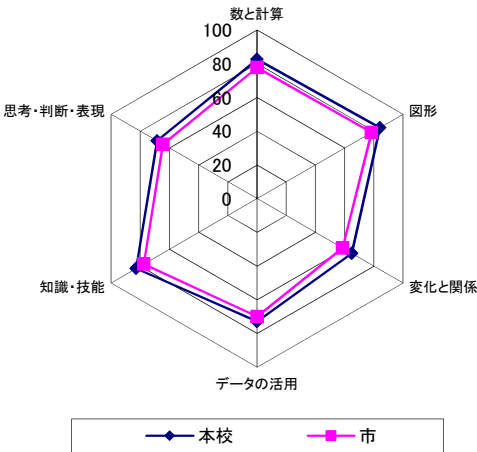
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○この領域の正答率は、市の平均を3.3ポイント上回っている。 ○日本の周辺の海洋名についての理解度は、市の平均を2.1ポイント上回っており、76.2%であった。 ●季節風についての理解を元に、太平洋側の気候の特色を雨温図から読み取る設問の正答率は、市の平均を7.9ポイント下回り、47.5%であった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・国名や海洋などの名称や位置関係、国内の気候の特徴など、地理的な基礎知識が定着できるように、今後も、地図帳や地球儀、1人1台端末を生かして調べる活動を取り入れていく。
農業や水産業	○この領域の正答率は、市の平均を1.7ポイント上回っている。 ○米の品質を高める工夫についての理解度は、市の平均を9.5ポイント上回り、95.9%と高い正答率であった。 ●日本の主な自給率についての設問の正答率は、市の平均を6ポイント下回り、30.3%だった。	・学んだことを自分の言葉でまとめたり、全体で共有したりすることで、さらに日本の農業や水産業の仕組みについて理解が深まるように指導していく。
工業生産	○この領域の正答率は、市の平均同じで77.9%だった。 ○日本の輸入などの外国との関わりにおける課題についての資料を読み取る設問の正答率が市の平均を3.3ポイント上回り、59.8%であった。	・日本と海外の輸出や輸入の関係など、教科書や資料集のグラフの読み取りに関する活動を、今後も丁寧におこなっていく。
産業と情報との関わり	○この領域の正答率は、市の平均を2.3ポイント上回っている。 ○森林を守るための間伐に関する設問では、正答率が88.5%と、市の平均を5.8ポイントと大きく上回った。	・日常生活と情報との関係性を、今後も教科書や資料集、1人1台端末などを活用しながら、適切にとらえさせる指導を進めていく。
日本の政治	○この領域の正答率は、市の平均を4.6ポイント上回っている。 ●租税に関する設問では、市の平均を2.6ポイント下回った。 ○議会政治についての設問では、市の平均を9.9ポイント上回った。	・学習活動の中で、資料から読み取ったことをお互いに交流する場面を設け、資料の情報を正確に使って説明する活動を増やすなど、今後も積極的に資料に触れていけるよう指導を進めていく。
日本の歴史	●この領域の正答率は、市の平均と同程度である。 ○天皇中心の政治と鎌倉幕府の政治についての設問では、正答率がどちらも80%を超える正答率となった。 ●元との闘いに関する設問では、市の平均を8.3ポイント下回り、35.2%だった。	・各時代の基礎的知識を復習するだけではなく、歴史的事象に対して考えたことを自分の言葉で記述したり、ノートにキーワードをまとめたりするような機会を増やしていくことで、歴史に関する知識を結び付けて理解し、活用できる力も伸ばしていきたい。

宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	82.6	77.7	78.6
	図形	84.1	78.4	74.4
	変化と関係	64.8	58.7	53.0
	データの活用	72.9	69.9	57.2
観点別	知識・技能	82.8	77.5	74.0
	思考・判断・表現	68.4	64.5	58.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

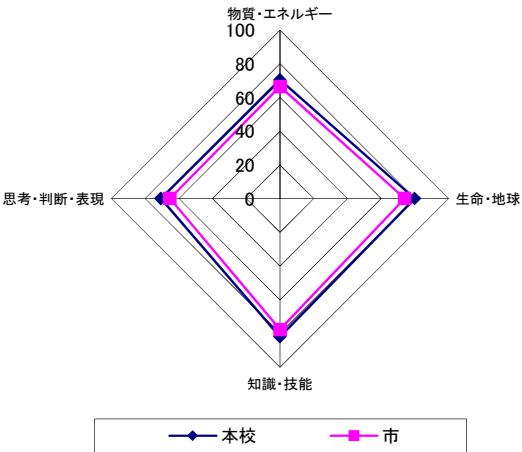
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○この領域の正答率は、市の平均を4.9ポイント上回っている。特に計算は、どの問題の正答率も9割前後でよく身に付いている。 ●比較量、基準量が分数の場合に何倍かを求める問題と文字を使った式から値を求める問題の2問のみ正答率が60%台であった。	・○は○の何倍かを求める問題は3年生から学習し、整数、小数、分数と広がっていく。各学年でこの問題を学習する際、問題場面の数量関係を十分に理解できるようにするため、図や数直線等を用いたり、自分の考えを説明する活動を設けたりする。特に、何が基準量かを文章から読み取れるような指導を丁寧に行う。文字を使った式についても、図などを使って文字を使う場面を具体的に理解できるようにしていく。
図形	○この領域の正答率は、市の平均を5.7ポイント上回っており、よく理解できている。 ●三角柱の展開図を組み立てたときに重なる頂点がどこかを選ぶ1問だけが、正答率が85.4%と高いものの、市の平均を下回った。	・図形領域の学習においては、作図や操作などの活動を多く取り入れ、図形をイメージできるようにしていき理解を深める。
変化と関係	○この領域の正答率は、市の平均を6.1ポイント上回っている。特に速さ、割引後の値段を求める問題は市の平均より10ポイント以上高かった。 ●面積と人数から、どのプールが最も混んでいるかを求める問題の正答率は51.2%で十分理解しているとは言えない。	・「単位量あたりの大きさ」、「速さ」、「割合」の問題は、引き続き数直線や図などを用いて考え、自分で説明する活動を増やしながら定着を図っていく。その際、問題の中に出てくる数量の関係を正確に捉えられるよう繰り返し丁寧に指導を行う。
データの活用	○この領域の正答率は、市の平均を3.0ポイント上回っている。 ●平均値とヒストグラムを関係付けて読み、読み取ったことを説明する問題の正答率は44.7%で課題がある。	・平均値やヒストグラムがデータの何を表すのかを理解させるとともに、1つ1つのグラフやデータを読み取る活動、複数のデータを関連付けて読み取る活動、さらには、読み取ったことを相手に伝えるようにまとめていく活動のそれぞれの活動の中で、自分の考えを深められるような話し合い活動を行う。

宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	70.4	66.5	66.3
	生命・地球	79.9	74.0	72.6
観点別	知識・技能	81.9	77.6	78.2
	思考・判断・表現	70.7	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○この領域の平均正答率は、市の平均を3.9ポイント上回っている。 ○「水溶液の性質」の未知の水溶液を特定する実験方法を計画する問題の正答率は38.5%だが、市の平均を5.7ポイント上回っている。 ●「物の燃え方」の実験の結果について検討し改善を考える問題の正答率は69.7%で、市の平均を1.2ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・自分の言葉で仮説を立ててから観察・実験し、結果の整理・考察、まとめ、振り返りをする過程で、鍵となる科学用語とその使い方を考えさせることで、知識の定着、科学的に考える力の育成を図ってきた。今後も重点的に指導を継続していく。 ・同じ領域の既習内容、領域が異なるが系統性がある内容、それぞれを関連付けて考えさせる場面を意図的につくり、単元同士の知識を統合する思考の育成を図る。
生命・地球	○この領域の平均正答率は、市の平均を5.9ポイント上回っている。 ○「植物のつくりとはたらき」の茎の断面の様子の理解の正答率は74.6%で、市の平均を11.8ポイント上回っている。 ○「月と太陽」の、月の形から、太陽がある方位と観察した時刻を導き出す問題の正答率は68.9%で、市の平均を9.2ポイント上回っている。	・観察・実験は、できるだけ小グループで活動し、一人一人が関わる場を増やすことで、自然の事物・現象に主体的にかかわる態度の育成、より確かな知識の形成を図る。 ・地球科学の分野は空間や時間のスケールが大きく、想像が難しいので、引き続きモデル実験を丁寧に行うことで理解を図っていく。

宇都宮市立豊郷中央小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
話す・書く力の向上	1根拠や理由を明らかにし、順序だてて端的に話したり書いたりする指導 2字数や段落など条件に合った書き方や文章の中で適切に漢字が使えるような指導 3授業や授業以外、家庭学習等で、自分の考えを表現する活動の工夫	・「聞く・話すこと」については、ほぼ良好な結果であった。また、書くことについても改善が見られた。特に「書く」ことの、字数や段落など条件に合った書き方や文章の中で適切に漢字が使えることに関しては改善が見られた。しかし、国語の報告文を書くことや説明文や資料から読み取ったことを書くこと、算数や理科の記述で解答する設問の中には、正答率の低いものがあった。今後も、書くことに重点を置いて指導していく。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・「話す・書く」力を更に高めるために、特に国語の学習では、引き続き字数や段落など条件に合った書き方ができるよう、学年の発達段階に合わせて指導していく。それに加えて、説明文や資料から読み取ったことを簡潔に書けるような指導に力を入れていく。また、社会や算数・理科等他の教科では、ICTも活用して自分の考えたことを分かりやすく表現して伝える力を付けることに力を入れていく。更に、教科以外の様々な活動場面の中でも、分かりやすく伝えるために根拠や理由を明らかにして話したり書いたりすること、順序だてて端的に話したり書いたりすることについて意識して指導していく。自分の考えを表現する活動を意図的に設け積み重ねていくことで、自分の思いや考えを伝える力の向上をめざす。